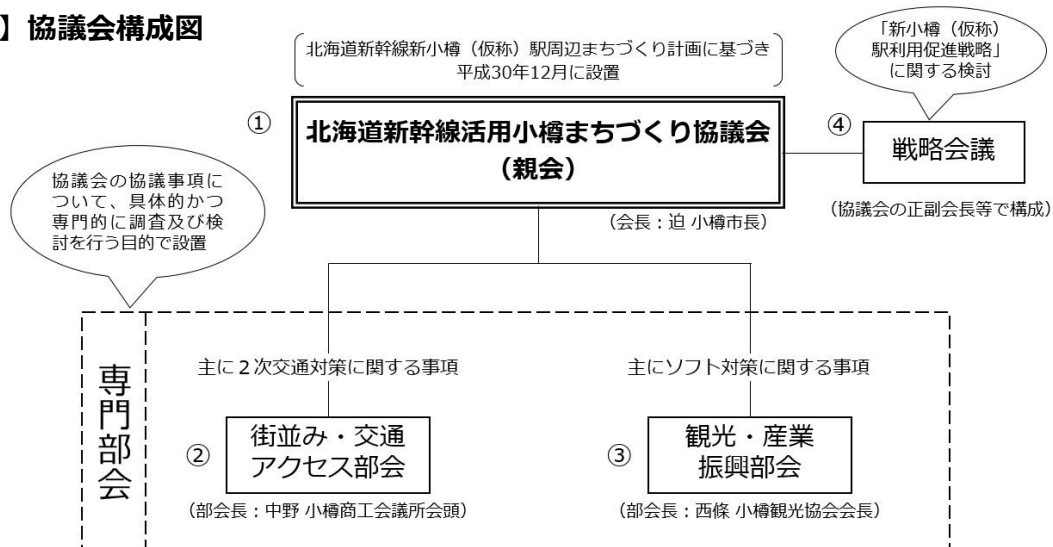


■ 各会議の開催状況について

【参考】協議会構成図



➤ 第12回協議会（令和6年3月26日）以降の会議等開催状況

① 協議会（親会）

書面通知日	主な議題
令和6年10月11日	○親会の開催延期等について … 参考資料3 参照 ➡ 令和6年5月に鉄道・運輸機構から「2030年度末の開業は極めて困難」との発表があり、開業時期が不透明となった。 このことを受け、新たな開業予定時期が示されるまでの間、協議会の開催を年2回から1回に変更し、10月に開催予定の協議会については延期とする旨通知した。

② 街並み・交通アクセス部会

開催日	主な議題
第9回 令和6年8月27日	○小樽市天神地区交通戦略※について … 参考資料4 参照 ※天神地区において、新幹線駅が設置されることによって生じる交通課題解決（新駅と中心市街地をつなぐ交通システム等）に向けた戦略〔市が策定主体〕 ➡ 市と国交省との協議結果を踏まえた戦略の最終案について了承。 （主な意見） ・特になし 【参考】戦略策定（小樽市：令和6年11月）

③ 観光・産業振興部会

開催日	主な議題
第6回 令和6年7月3日	○新駅周辺の河川整備について ➡ 北海道が検討している勝納川環境整備案に対して、主に新駅の利用者等の利活用の観点から、北海道と意見交換。 （主な意見） ・自然環境を活かした宿泊施設や小樽の良さを手軽に感じられる飲食施設があると

	市内中心部への誘導につなげられるのではないかな。 ・奥沢水源地が見どころになるため、新駅からの導線の確保が必要。 ・観光の視点から考えると、新駅で降りて楽しんでもらえる要素を作り出し、さらにインバウンド富裕層に向けたものに繋げていくべき。 ・天神地区の魅力は、奥沢水源地、階段式溢流路や滝にある。飲食店等の設置や桜の植樹、地域住民も楽しめる施設の検討も必要。 ・イベント実施の際は駐車場の無料開放を行い、キッチンカー等の飲食店を設置できるようにすれば、観光客、地域住民の両方が楽しめるのではないかな。 ・河川整備後の定期的な維持管理について検討してほしい。 ・楽しめる、学べる要素として、散策路に天神の歴史を学べる展示などがあるといいのではないかな。 ・水源地までのルートに花や桜を設置することで、楽しみながら現地まで向かえるような整備がいいのではないかな。 ・奥沢水源地の奥にある穴滝へと繋ぐようなコースをアピールしてはどうか。 ・奥沢水源地周辺の整備については、一度現地視察を行った上で検討してはどうか。
第 7 回 令和 6 年 11 月 25 日	○新駅周辺の河川整備について … 参考資料 5 参照 ➡ 前回の意見を踏まえ北海道で作成した河川整備イメージについて意見交換し、今後、整備に向けて設計を進めていくことを確認した。 (主な意見・質疑応答) ・散策路は冬季も利用できるのか。 → 現時点では冬季の利用を想定していない（除雪は行わない）。 ・河道内散策路において物販などは可能なのか。 → 可能。今後、物販やイベント等のソフト施策について検討していく必要がある。 ・奥沢水源地の溢流路は魅力的なスポットなので、散策路整備の際には溢流路がしっかりと見える位置までの整備をお願いしたい。 ・散策路整備後の維持管理についても、継続できるよう検討していただきたい。

④ 戦略会議

開催日	主な議題
第 11 回 令和 7 年 1 月 10 日	○新駅周辺の魅力を高める土地利活用のあり方に関する可能性を含めた検討について ➡ 新駅周辺の土地利活用について、今後の検討を含めた方向性について幅広く意見交換。 引き続き、戦略会議で議論していくことを確認。 (主な意見) ●土地の利活用需要の動向について ・新幹線の開業延期により、札幌駅前の再開発が一段落すれば、小樽まで目を向ける可能性はあると思う。 ・ニセコから流れてくる外国人や千歳進出するラピダス需要を狙うのもひとつ。 ・まずは関係者や専門業者の意見を聞いたり、情報収集したりしていく必要がある。 ●取組の方向性について ・開業時期が不明だが、時間があるとは思わず、検討はした方が良い。 ●その他